

ECBO プログラム（技術系学生の海外研修プログラム） 募集要項

1. 事業の概要

(1) 海外インターンシップ教育事業について

言語・文化・慣習等の壁を超えて日本と海外の長所を融合し、グローバル化時代の新たな問題を解決することのできる国際技術者の育成を目的とした教育事業で、2001 年度より開始した「ECBO プログラム」と、2006 年度より開始した「海外共同研究」の 2 つから構成されます。

【ECBO プログラム】

毎年約 10 名の大学院生を、海外に進出している日系企業へ 2 週間～4 週間程度の期間派遣し、インターンシップを実施します。

【海外共同研究】

毎年約 10 名の大学院生を、広島大学海外交流協定校へ 2 週間～4 週間程度の期間派遣し、共同研究を実施します。

派遣された学生に対しては、博士課程前期は「海外学術活動演習 B」（2 単位）、博士課程後期は「自然科学系長期インターンシップ」等（2 単位）の単位認定を行います。

両プログラムとも、現地研修だけでなく、事前研修（英語学習・事例研究）と事後研修（技術移転演習）を組み合わせ実施します。

ホームページ：<https://www.hiroshima-u.ac.jp/eng/international/Internship>

(2) ECBO プログラムの目的

グローバル化するビジネス環境に強い関心を持つ技術系学生を、日本企業の海外パートナー拠点、国際機関等に派遣し、技術者としての高い倫理を持った 21 世紀の技術を担う次世代技術者を養成します。

プログラムに参加することにより、国境を超えて活躍できるグローバルな技術者、すなわち「国境を超えるエンジニア（Engineers to Cross Borders）」として成長する機会とします。

学生の研修経験をより実効性の高いものとするため、派遣前に講義、英語によるコミュニケーション力向上のための特別指導、国内の母工場の見学などにより十分な事前研修を実施します。

現地研修終了後は、参加しなかった学生への知識の伝承、課題意識の喚起をはかるため、研究科共通科目「技術移転演習」などの科目の中で事後のフォローアップ教育を実施します。

2. 応募資格

以下のすべてに該当する者を応募の対象とします。

- ① 先進理工系科学研究科（工学系・情報科学プログラム）・工学研究科の大学院生であること。
- ② 人格に優れ、心身ともに健全であること。
- ③ グローバル化するビジネス環境に強い関心を持っていること。
- ④ 研修を遂行するうえで必要な英語能力・日本語能力を満たすこと。
- ⑤ すべての派遣先企業の受入要件を満たすこと。

【注意点】

- 外国人留学生の場合は、事前に指導教員を通じてプログラム担当教員に相談してください。
- 「国籍を有する国（母国）への派遣」、「日本国政府国費留学生の派遣」に対しては、本プログラムからの経済的支援（派遣費用補助）は行いません。

3. 派遣先・派遣予定人数

フィリピン・タイ・ベトナム等へ 10 名程度の学生を派遣することを予定しています。

派遣先は応募者の専攻分野や希望と、派遣先の希望等を調整した後に決定します。

派遣先の候補は以下のとおりです。

サタケタイ、神戸製鋼所（タイ）、常石造船（フィリピン）、霧のいけうち（ベトナム）、貝印（ベトナム）

以下ページの派遣実績一覧表を参考にしてください。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/eng/international/Internship>

4. 研修内容について

研修機関の現場で、補助的役割であるが一定の責任をもちつつ、業務ないしは課題を遂行する。業務や課題の内容は受入機関と個別に協議して定める。研修生は、事前・事後研修を受け、スムーズなプログラム遂行を図るとともに、成果をより確実なものとする。

区分	課題内容
事前研修	・ 本プログラムの趣旨理解と準備教育 ・ 国際環境，研修実施国の国情，経済，市民生活などに関する一般的学习 ・ 研究科共通科目「技術移転論」の受講（必修） ・ 研究科共通科目「MOT とベンチャービジネス論」の受講（要望） ・ 「e-learning Newton TLT（完全習熟トレーニング専用プログラム）」による英語学習（必修）。但し，TOEIC 730 点以上は免除。 ・ 「海外渡航リスク管理セミナー」（オンデマンド）の受講（必修） ・ 「派遣前最終報告会」での発表（必修） ・ その他，必要に応じて求められた課題等
現地研修	【現地研修の内容】 ・ 研修機関で与えられた業務ないし課題を，責任をもって遂行する。 ・ 研修として遂行する業務・課題や研修機関全般などについて，研修機関にとって有益と思われる改善事項を考える。 ・ 現地研修の成果は，中間・最終発表を通じて，現地の技術者と世話教員の前で報告を行う。 【研修期間】 2025 年 8 月下旬から 9 月下旬までの間で 2 週間（14 日）以上。ただし，研修先の都合により変更になることもある。
事後研修	・ 「帰国報告書」（帰国後 1 週間以内）の提出（必修） ・ 「最終報告書」（帰国後 1 か月以内）の作成・提出（必修） ・ 研究科共通科目「技術移転演習」の受講（必修） ・ 現地研修後に受験した TOEIC®スコアの提出（必修）原則 11 月実施の学内 TOEIC IP テストを受験すること。スコア提出締切：2025 年 3 月 6 日（金） ・ 「最終報告会」での発表（必修） ・ その他，必要に応じて求められた課題等

※ 研修課題については，授業等の開講状況により変更となる場合があります。

5. 応募手続について

(1) 応募申請書類受付期間

2025 年 4 月 4 日（金）から 4 月 15 日（火）まで

(2) 応募書類提出方法

以下 Microsoft Forms に応募書類をアップロード

<https://forms.office.com/r/j2jehqf1AJ>



- 一度アップロードしたファイルを更新する場合は、ファイル名を更新したことがわかるように変更して、再度アップロードしてください。
- 最後にアップロードされたファイルを審査に使用します。
- 応募締切後に、支援室から申請者の広大メールアドレスあてに申請完了通知メールをお送りします。
- 応募締切日から 3 営業日以内に申請完了通知が届かない場合は、工学系総括支援室（国際事業担当）あてお問い合わせください。

(3) 応募書類等

① 応募申請書（所定様式）	ファイル名は「氏名 申請書」 Microsoft Word 形式で提出。
② TOEIC®スコア証明書 （写し）	ファイル名は「氏名 TOEIC」 最新の TOEIC®スコア（学部 3 年次以降に取得したスコア証明書）の PDF 又は画像ファイルを提出。 ※最終選考までに TOEIC®550 点以上を取得することを合格の条件とします。
③ 週間スケジュール（所定様式）	ファイル名は「氏名 週間スケジュール」 Microsoft Word 形式で提出。

6. 派遣学生選考方法について

派遣学生の選考は第 1 次選考と最終選考に分けて実施します。

(1) 第 1 次選考

応募学生全員に対し、書類審査（志望理由書）を実施し、採点結果に基づき選考します。第 1 次選考結果通知日：2025 年 5 月上旬（予定）

※応募学生全員に対し、メールにて通知します。

(2) 最終選考

第 1 次選考の合格者に対して実施する「個人面接」と「英語プレゼンテーション」の採点結果に加えて、書類審査（志望理由）の採点結果、TOEIC®スコア（550 点以上を合格の条件とします。）ならびに事前研修の取組状況を考慮して、総合的に選考します。

試験実施日時ならびに試験内容：

日時	試験内容
5 月中～下旬 （日時未定）	個人面接： 志望動機、派遣に対する意欲、派遣に向けての準備状況等に関する試問を行います。
	英語プレゼンテーション： 英語によるプレゼンテーションならびに質疑応答を行います。 プレゼンテーションの内容は別途お知らせします。

(3) 最終選考結果通知

6 月上旬に最終選考受験学生全員に対しメールにて通知します。

7. 説明会・選考会等実施スケジュール

日 時	項 目
4 月 3 日（木） 16：00～17：00 @工学部小会議室 及び Teams	応募希望者向け説明会：主に以下の説明を行います。 ・プログラム概要 ・応募の注意事項の説明を行います。 (Teams のリンクはもみじ掲示参照)
4 月 4 日（金）～ 4 月 15 日（火）	応募受付期間
4 月 17 日（木） 16：20～17：00 @工学部小会議室	応募学生対象説明会：主に以下の説明を行います。 ・最終選考（個人面接・英語プレゼンテーション） ・事前研修（英語 e-learning 等）の受講
5 月上旬	第 1 次選考結果通知
5 月中～下旬	最終選考会（個人面接、英語プレゼンテーション）
6 月上旬（予定）	最終選考結果通知
6 月中旬（予定）	派遣説明会：最終選考合格者を対象に主に以下の説明を行います。

	・派遣にあたっての各種注意事項 ・海外旅行保険への加入 ・派遣前最終報告会
6月中旬以降	海外渡航リスク管理セミナー： オンデマンドにより各自受講
7月上旬（予定）	派遣前最終報告会（第一部） ※派遣開始時期が早い学生を対象。
7月下旬（予定）	派遣前最終報告会（第二部）
8月～9月（予定）	現地研修（2週間～1ヶ月程度）
10月～	事後研修開始
12月下旬（予定）	最終報告会

※日程等については、都合により変更となる場合があります。

8. リスク管理（傷害保険への加入等）について

応募学生には不測の事態に備え、本学が包括協定を結んでいる東京海上日動火災保険(株)の海外旅行保険への加入を義務づけます。

上記に加えて、海外でも利用可能な携帯電話の持参を義務づけます。

9. 経費負担

学生派遣に必要な経費（国内交通費・国際航空運賃・宿泊費・ビザ代・海外旅行保険代等）については、5万円を学生の自己負担とし、残りは本教育事業（または受入機関）が負担します。ただし、外国人留学生の場合、「国籍を有する国（母国）への派遣」、「日本国費留学生の派遣」については、派遣費用は全額を本人または研究室の負担となります。

派遣に必要な経費は先立って支払う必要があります。（派遣終了後に支給されます）

なお、現地研修中にかかる食費、交通費などの費用、海外でも利用可能な携帯電話の費用等は自己負担とします。

10. その他注意事項

- ・派遣先の諸規則、及び受入れ担当者の指示・命令を遵守すること。
- ・派遣先の担当者が、正当な理由から研修を続行することができないと判断した場合には、広島大学の担当教員と協議のうえ、研修の中止ならびに途中帰国を指示することがある。
- ・現地の治安情勢や感染症等の状況に十分注意し、責任ある行動をとること。
- ・派遣国・地域等の治安状況等により、派遣先における安全が確保できないと判断した場合には、派遣の中止あるいは途中帰国を指示することがある。
- ・本プログラムに関する連絡には広大メール（～@hiroshima-u.ac.jp）を使用しますので、常に広大メールを確認・使用できるようにすること。

11. 問い合わせ先

広島大学大学院先進理工系科学研究科 教授 山本 元道

Tel: 082-424-7815

E-mail: motoyama@hiroshima-u.ac.jp

広島大学工学系総括支援室（国際事業担当）

〒739-8527 広島県東広島市鏡山一丁目 4-1

Tel: 082-424-4361, 7503

E-mail: kou-gaku-daigakuin@office.hiroshima-u.ac.jp